

閑上地区まちづくり協議会 世話役会(137) 議事録

日 時	平成 30 年 4 月 23 日 (月) 18:30~21:00
場 所	名取市復興区画整理課会議室 (仙台法務局名取出張所 2 階)
出席者	世話役 : (代表) 針生 勉、(副代表) 今野 義正、(事務局) 今野 慎介、宇佐美 久夫、南部 比呂志、千葉 洋子、庄司 則雄 (事務局) コンサルタント 3 名
オブザーバー	市職員 2 名、仙台高専 1 名
議 題	0. 事前確認 1. 情報共有 2. 検討事項 3. その他
資 料	資料-0 次第、第 136 回世話役会議事録案 資料-1 前回までの動き報告資料 資料-2 第 4 回定期総会関連資料 資料-3 まちづくり提案の反映状況整理 資料-4 震災メモリアル公園の整備概要

○ 協議要旨

0. 事前確認について

<議事録確認>

- ・第 136 回世話役会議事録は、一部修正して確定することとした。

1. 情報共有

<名取市からの情報提供>

- ・震災メモリアル公園の実施設計に向けた資料の説明があり、ワークショップでの意見の反映について、市に確認してもらうこととなった。
- ・スポーツエリアについての説明会を 5 月 15 日に開催することとした。

<前回からの動き>

- ・県道東側の住民顔合わせ会の参加やなとり春祭りへの出展及びあおい地区のイベントへの参加報告があった。

<今後の動き>

- ・復興促進イベントについて意見交換があり、来年度のまちびらきのイベント開催に向けて、課題だしや住民参加の方向性について、協議会としても十分役割を果していきたいとの話があった。

2. 検討事項

<第 4 回総会資料>

- ・資料案に対して意見があり、表現や文言の修正を行うこととした。
- ・市から中央緑道について、第 7 次提案を出して欲しいとの話があり、資料作成して、次回世話役会までに案を固めることとした。なお、資料の配布は 5 月 8 日以降とする。

<ニュースレター>

・表現の一部を修正するとともに、総会資料が近々に送付できないため、ニュースレターを先行的に郵送し、その中で、総会資料の送付時期を明示することとした。

3. その他

・スポーツエリアの説明会を5月15日とした。

<次回世話役会>

・次回世話役会は5月8日（火）とする。

次回予定:世話役会(138)5/8(火)18:30～ 名取市震災復興部会議室

以下、世話役会の主な意見について記載する。

0. 事前確認

資料-0 第136回世話役会議事録案

<議事録の確認>

・第136回世話役会議事録は、一部修正して、確定した。

1. 情報共有

<名取市からの情報提供>

→震災メモリアル公園の実施設計概要について、本日、議員協議会で発表され、明日の河北新報に掲載予定であるため、資料説明する。(市)

→スポーツエリアについて、5月18日に教育委員会からまち協に説明予定である。(市)

→来年4月に保育所が開設されることが決まり、運営する民間事業者も決定した。幼稚園は土地引渡しからなので、その後開設の予定である。市有地の販売は、現在5区画、ホームページに掲載しており、坪10万弱ぐらいの販売予定額となっており、従来から販売している2画地が残っているので計7画地ある。まち協の提案内容の反映状況だが、内容を確認して、次回反映度を示す予定である。(市)

・メモリアル公園は、大型テントとトイレだが防犯対策はどうなるのか？夏場の暴走族対策とか、夜中の管理が行き届かないので、防犯対策の考え方について聞きたい。

・即答は無理だろうから、担当部局に確認して返事をいただければよいと思う。

→了解した、確認する。

・5月18日にスポーツエリアについて説明するとしているが、意見の反映の仕方について、ほぼできない可能性もあり、総会後に提案書を市長宛に出すが、意見の反映についての質問という形で確認できるような提示をしていきたいと思う。市でも市長に時間をとってもらえるようだ。

・説明する際に、提案した内容について、意見への対応を説明してもらいたい。意見を反映していないことについて、理由を提示することとして欲しい。

・資料をもって説明して欲しい。できない理由について納得できればいいが、できない場合、市長提案の後に、要望書を出すことも考えられる。納得できれば市長に話す必要もない。

・着工が間近で急ぐと思うが、その方向で進めて欲しい。

・Bゾーンについて、常設の建物の話だったが、伝える目的がなになのかわかりやすくして欲

しいが、施設の維持ができるのか不安、時間をたつとこわれる可能性も高い施設を整備する意図が理解できない。

・大型テントなども理解できない、トイレも足りない。Bゾーンの説明内容は、ワークショップやパブリックコメントもそういう方向にない。

・閉上の各種団体との調整はしたのか？今後も伝承していきたいということもあり、地域の団体も活用しながら進めていくものとしていたと思うが、そうっていないと思う。常設で人がいて、パネル展示なども求めていたと思う。

→伝承館が防災センターにできる予定。そういう内容はそっちだと思う。(市)

・当初はそうでないと思う。伝承館と震災メモリアル公園との機能の役割などを明確にしていけないといけないのではないかと思う。

・連携が取れていないと思う。ばらばらだ。

・防災ステーションでやることを明確にしないと、連携が見えない。1階の施設で空間的な確保ができるのか、無駄なものをつくることは必要ないし、海が見えない丘が必要あるのかと思う？

・遺構と伝承ゾーンの意見がまったく反映されていない。1,2階建ての建物が必要との意見もあった。逃げる時間がない場合の避難所施設の設置もあったと思う、市として対応策を考えているのか、聞きたい。

・集合住宅が避難所だが、朝市の開催日で人が逃げ切れるのか？避難経路や避難方法を検討すべきだろうといっている。

・海側に建物を配置していたが、避難についてはどう考えているのか気に成る。

・避難経路と緊急時の対応を説明して欲しい。

→避難サインのワークショップで検討したのでは？(事務局)

・サインもこのままでは？

・水産加工団地との関連性など、津波避難の備えについて、しっかりとした考え方を示すべきだろう。

→震災メモリアル公園の担当課では説明できないだろう。(市)

・高い建物があつた方がいいという話がワークショップではあつた。避難タワーでも良い。

→説明する機会を確保する。(市)

・新聞に載るといことはこのままで行くということだろう。

・ワークショップでの意見を反映しないということは、西側に逃げるということだろう。

・防災ステーションで何ができるのかわからない中で、この計画が進んでいくのは疑問だ。

・追加で検討してもらえる方向について、避難などについても検証してできることだろう。

→検討するというのも答えだとは思ふ。(市)

→避難誘導、道路の整備、公園整備などは交付金では難しいだろう。ワークショップの意見をどのように判断したかを確認していきたいと思う。

<前回からの動き>

① 顔合わせ会について

・顔合わせ会は、今までに比べ少し参加者数が少なかった。

・顔見知りが多いので、和気あいあいとしていい感じだ。

・中央団地の集会所なので、歩いてくる必要があり、抵抗感があるだろう。集会所ができれば、さらに集まる可能性がある。

→日にちが悪かった、土曜日開催はこれから見直す方向である。(市)

・防集と災害公営住宅の参加者の比率は？

→防集は1/3ぐらいだと思う。(市)

・防集が少なかったのは確か

→3回目だが、いままでは30名ぐらいだったが、日曜日にできないかという意見があった。買い物などのために参加しにくいかなあと思う。自治会への形成を進めていく。9月には集会所ができるので、考えていくということになるだろう。互いの信頼関係がおおきい、自治会は自然に行うという理解だ。世話役が10名いるので、今回は、西松の補助金獲得も視野に入れて進めていくことを目指している。(市)

・9月までに自治会を作ってもらいたいということで進めて欲しいと個人的には思う。

② あおい地区のイベント参加について

・メインのイベントが終わると人が少なくなる。やり方などはいいかどうか反面教師的な部分もある。視察時に聞いた内容で、特に予算の確保などは参考になる。イベントは明るい雰囲気はあった。

・イベントする際に参考になるか？

・特にあるとは思えない。

・来賓の祝辞では、先導役が褒められていることは明確だった。地域全体というよりは個々の人の立場がクローズアップされているように思った。

③ 春祭り

・シール張りアンケートでは、イベント開催の要望が多かったが、まち協がイベントを企画することはないだろう。住民が企画して実施できるようにサポートできる工夫をまち協が支援していくことが重要だろう。

・仮設のときから、イベント開催などに係ってきたが、イベントの実施の支援を続けるということ自体がおかしくて、住民が主体的に行えるように、きっかけ作りをしていくことの方が重要だと思う。

・ニュースレターにアンケート結果を示して、まち協がどう考えるかを示していくことなども重要だろう。現在進行形のことを、すくなくとも真の情報を提供していきたいと思う。回答も必要だろう。

・福笑いは？

・何人かはしてくれたが、中に設置したので、動線的にうまくなく、場所の問題があった。反省だ。

・アイデアはよかったが、難しかったかも、やり方を考えればいいのかもかもしれない。

→説明者などの段取りもわるいかも、市長が来て面白いとは行っていた。(事務局)

・次回の宿題としてやり方を検討していく。

<今後の動き>

・復興促進イベントは、まち協への周知が遅くなるのは問題だが、来年の復興イベントについては、他の団体も含めて、実行委員会の設置、協議が必要だと思う。復興促進イベントを参考にし、よりよいものとしていきたい。

・喜ぶ人と何をやるかがわからないという人もいる。

・来年のイベントには、団体がからまないといけない。

- 5月27日は9:00からセレモニーがあるが、それ以外のイベントが14:30までである。(市)
- ・平板ブロックの値段について質問がきた。
 - ・来年のものは、住民と行政が連携して行うべきだと思う。
 - ・今回の経験を踏まえて、来年度のまちびらきについて、進めていくことが必要だろう。
 - ・協力要請があれば対応はすべきだろう。
 - ・閑上として恥ずかしくないような対応はしてほしい。

2. 検討事項

1) 第4回定期総会について

- ・案内文の修正を行った。
- ・情報交換会の一文は要らないのでは？

→削除する。(事務局)

- ・復興マラソンの9月30日は、特に支援していないので削除する。

→了解。(事務局)

- ・主たる活動項目はいらないのでは？
- ・活動実績は詳細を見ればいいが、目標に合わせて大まかに整理しているという理解だ。

→活動方針の振り返りという位置づけになる。(事務局)

・この部分は1年間の大まかな活動の説明なので、その後には詳細は続けて説明するが、冒頭代表の挨拶のなかであってもよい内容だと思う。

- ・挨拶の中で、話してもらうのがよいのでは？
- ・挨拶で網羅はしていくが、文章は残したほうがよい。
- ・音楽の出番という表現ではなく、ボランティア団体から支援という表現に修正したほうが良い。

名称は鍵括弧内にするとか。

- ・専門家が何かを表示すべきだろう。

→神戸まちづくり研究所という表現に修正する。(事務局)

- ・祝賀会参加料は表示しない方がよい。

→等に修正する。(事務局)

・目標にある人材育成という表現については、大風呂敷過ぎるだろう。まちづくりへの関心のあ
る人を集めたいということではないか？

- ・連携する団体などと情報提供したりしながら、団体の知見を向上するなど役割としてはある
と思うので、表現を修正すべきではないか？

・閑上の復興まちづくりにより多くの参加者で進めていくことではないか？まち協としてはいろ
んな部署から団体から参加してもらい、組織を充実したいと思うことだ。

→世話役会の勉強会のときに、人材育成について、会員の中にもハブになる人を増やしたいとい
うことがあったので、学校の開校にも伴いまちづくりへの生徒の参加も含めて、説明しているこ
とから、人材育成としたが、見直してみる。(事務局)

- ・世話役会の強化、充実も重要な課題だと思う。
- ・いいことばが見つからない。
- ・まち協の充実ではなく、活動による地域コミュニティの強化になるものではないか？
- ・残った事業の連携やゆりあげのまちづくりの繋がりを明確にしていくことが必要では？
- ・まちびらきを前面に出すとそれだけが目標ととられる。
- ・1行目と2行目は逆だろう。

- ・最初の文章を整理して、大きな3項目を省略しても良い。
- ・協議会としてかわまちテラスや水産工業の人たちなどと連携強化することを目標とすることが重要だと思う。

- ・いままでのまち協の活動を検証するのは一番だろう。
- ・地域に関わる人との連携を強化するというではないか？

→指摘を踏まえて順番と表現を修正する。(事務局)

- ・修正したものをメールでやり取りする。
- ・まち開き準備会の設置はいいのか？
- ・市の体制作りもあるかもしれないが、意見を言える環境づくりは要望すべきだと思う。
- ・まち協の設立経緯があるので、参加するのは必須だろう。

→窓口として一本化すべきという意味もあり設置する予定とした。(事務局)

→中央緑道の件だが、第七次提案として出してほしい。(市)

- ・提案するとやりやすいとの話があり、提案内容がそのまま実現できることになり、良いことだと思う。

→まち協として、公園緑地部会で示された現段階の設計図で了承するというのか？(事務局)

- ・これから話し合う部分もある。市と協議しながら連携する検討項目を記述できないか？
- ・提案とすることはよいが、その後の進め方が重要だ。今後検討していく中で、課題となっている点をしっかりとフォローしていくべきだろう。

→引き続き検討することがありうることも表記すべきだろう。提案書をつくるべきだが、世話役会での検討を経て作る必要があり、今週末に送付できない。(事務局)

- ・第一次提案での中央緑道の東側の延伸などもあり、その答えがないので出せるか？
- ・貞山運河は緑道をまっすぐできず、道路を経由して行くこととしているので、延伸ではない。
- ・がちがちの案では、なかなか難しいのでは？

→検討をやっているという部分で提案が欲しい。(市)

→議案4として作成する。(事務局)

- ・後日の資料送付でいくか？
- ・できれば提案書もおくったほうがよい。

→段取りを考えると5月8日に発送となるだろう。(事務局)

- ・第7次提案資料作成し、メールでやり取りして発送する。

→予算資料説明(事務局)

- ・義捐金を除いたら？
- ・会議費を増やしたほうがいいのか？
- ・まち協のホームページに広告掲載による収入額を計上することなどもいいかもしれない。

→市の予算でまち協を運営支援しているので、広告収入などの点については、整理が必要だ。検討する。(事務局)

<ニュースレターについて>

- ・ニュースレターを先に発送はできるか？

→可能だ。(事務局)

- ・総会の資料の発送時期とかいれたらどうか？
- ・議案協議後の話はいらないだろう。
- ・スポーツエリアなどの説明などを報告する場は必要だろう。

- ・メモリアル公園などもあるが、何をどこまで説明するか、市からの説明後になる。
 - ・今後の事業についてとして、わかっていることだけを報告するとしたらどうか？
 - ・現場の動きとしては、トレイルセンターの工事が始まったに替えたかどうか？
 - ・県道のボックス設置、整備が進んでいるとの話をいれたらどうか？
 - ・ハード部分の動きをいれたら？
 - ・顔合わせ会にもまち協のメンバーが参加していることを明示することが必要である。
 - ・次号からハード部分の紹介もしたらどうか？
- 現場の動きを追加することもできる。(事務局)
- ・現在の県道の状況を写真撮影し、それを入れることとする。

3. その他

→スポーツエリアの説明は5月15日としていいか？(市)

- ・了解した。
- ・次回は、5月8日とし、2週連続の世話役会開催とする。

→提案書の反映状況についての資料は、目を通してチェックして欲しい。(事務局)

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は5月8日(火)とする。

次回予定:世話役会(138)5/8(火)18:30～ 名取市震災復興部会議室